

会議録

<p>会議の名称</p>	<p>令和6年度朝霞市ふれあい推進事業第3回推進委員会</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和7年2月18日（火） 午後4時から午後5時まで</p>
<p>開催場所</p>	<p>ゆめぱれす（朝霞市民会館）会議室201</p>
<p>出席者及び欠席者の職・氏名</p>	<p>○出席者 23名 ・委員等 16名 （松尾自治会連合会長、渡邊子ども会連合会長、平塚文化協会会長、石原スポーツ協会会長、栗原レクリエーション協会理事、金子青少年育成市民会議副会長、渡辺社会福祉協議会常務理事、久住埼玉県立朝霞高等学校長、原埼玉県立朝霞西高等学校長、吉山朝霞第六小学校PTA会長、田邊朝霞第六小学校長、相澤朝霞第二小学校PTA会長、宮腰朝霞第二小学校長、生方朝霞第十小学校子どものための会会長、岩崎朝霞第十小学校長、渡邊朝霞第八小学校保護者と先生の会会長） ・事務局 7名 （奥山生涯学習部長、小島学校教育部長、小笠原生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長、高橋こども未来課長、横瀬教育指導課長、高橋生涯学習・スポーツ課課長補佐、三宅教育指導課指導主事） ○欠席者 9名 （松井スポーツ少年団本部長、坂本西部地区民生委員児童委員協議会副会長、柏谷商工会理事、富樫青少年相談員協議会書記、小日向保護司会朝霞支部書記、岩上朝霞警察署生活安全課長代理、田中朝霞第八小学校長、松本朝霞第三小学校長、田中朝霞第三小学校PTA会長）</p>
<p>議題</p>	<p>（1）朝霞市ふれあい推進事業中学校区における事業について各中学校区からの報告（予算執行状況も含む） （2）令和7年度朝霞市ふれあい推進事業について</p>
<p>会議資料</p>	<p>資料1 令和6年度朝霞市ふれあい推進事業第3回推進委員会次第 資料2 令和6年度朝霞市ふれあい推進事業第3回推進委員会資料</p>

会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした 場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 事務局長による確認	
傍聴者の数	1人	
その他の必要事項	無し	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 委員長あいさつ

（松尾委員長）

皆様、こんばんは。本日は、第3回目のふれあい推進事業推進委員会にご出席いただき、ありがとうございます。各中学校区での取組をご報告いただき、来年度のふれあい推進事業に生かせるよう、よろしくお願いいたします。

2 議題

（1）令和6年度各中学校区での事業報告について

①朝霞第一中学校区における事業報告について

（吉山朝霞第六小学校PTA会長）

朝霞第一中学校区では、今年度については、朝霞一中、朝霞一小、朝霞四小、朝霞六小の児童生徒、保護者、地域の方々とともに朝霞第一中学校で、地域の防災体験を行い、防災の知識を向上させることができた。参加者の数が予想以上に少なく、小・中学生の参加も課題となっている。

（田邊朝霞第六小学校長）

一中校区は、参加人数が少ないことが課題となっている。次年度に向けて、校区内の小学校で何回かに分かれて実施することはできないかを検討したい。そのために、補助金を分割することはできないのか。

②朝霞第二中学校区における事業について

（相澤朝霞第二小学校PTA会長）

残念ながら今年度は雨天のため中止となってしまった。とても心待ちにしていた児童が多く大変残念な結果になってしまった。使用しなかった補助金は返還する。

③朝霞第三中学校区における事業について

（生方朝霞第十小学校子どものための会会長）

主な内容として、あいさつ運動推進の看板はスムーズに作成することができた。朝霞三中の吹奏楽部の演奏や鳴子踊り、十小の「うたの輪」の合唱発表などのステージ発表も盛り上がった。また、地元のヒーロー「キャプテンカロテン」のショーも大変好評であった。予算を全額使い切ることができた。

④朝霞第四中学校区における事業について

（渡邊朝霞第八小学校保護者と先生の会会長）

今年度も朝霞八小と朝霞四中の両校間の行き来を可とし、延べ四千人を超える方に参加していただいた。ステージ発表や模擬店も大変賑わっていた。大変多くの団体が参加しており、様々な方々とふれあうことができた。

⑤朝霞第五中学校区における事業について

（事務局）

「fun!fun!fun! vol.19」をキャッチフレーズとして、地域の各団体の出し物や出店により大変盛り上がりを見せていた。当日は雨天であったため、室内での開催で、密集していたが、計画していたものは全て実施することができた。動物ふれあい、ゲーム、昔遊び等多岐に渡った内容であった。

(2) 令和7年度朝霞市ふれあい推進事業について

(事務局：三宅)

各中学校区で工夫を凝らした事業を実施していただき、ありがとうございます。次年度に向けてぜひとも忌憚の無い意見をお願いいたします。

(渡邊朝霞第八小学校保護者と先生の会会長)

①領収書の書き方についてはどうしているのか。

(事務局：三宅)

明朗な会計であることが分かればよい。

②情報誌等でのふれあい推進事業を広報する予定はあるか。

(事務局：三宅)

学校便り等に載せている。

③校区でふれあい推進事業について啓発する際に、朝霞市の事業であることが地域の方に理解されにくい。町内会の方々としては、ふれあい推進事業をどう思っているのか。

(松尾委員長)

自治連としても、今後声をかけて盛り上げていきたい。

(奥山生涯学習部長)

HP や広報誌などで工夫をして広報していければと考えている。

(吉山朝霞第六小学校PTA会長)

推進事業への参加に声掛けができていない町内会もあるのではないかと。事務局では、どの校区にどこの町内会が所属しているかを把握しているか。」

(松尾委員長)

町内会については、地域づくり支援課が把握している。

(相澤朝霞第二小学校PTA会長)

中学生の参加が少ないので、市の方からも中学生に声掛けをしてほしい。

(宮腰朝霞第二小学校長)

大人だけで進めるのではなく、子どもたちを巻き込んで実施していく必要がある。アンケートを取るなどして、中学生がもっと参加したいというような取組にしていくことが大切である。

(松尾委員長)

中学校の試験や他の行事等との重なりがないようにするといいのではないかと。

(田邊朝霞第六小学校長)

補助金を柔軟に使えるようにしてほしい。

(渡邊朝霞第八小学校保護者と先生の会会長)

様々な課で連携していけるとよい。

3 閉会

(渡邊副委員長)

このふれあい推進事業は、地域がつながっていくためのきっかけづくりになっているのと思う。来年度の担当者に引き継いでいくことも、きっかけづくりの一つになると思う。

以上で、第2回ふれあい推進事業推進委員会を閉会いたします。